

## 畜種別等概要

### 【 肉用牛 】

- ① 飼養頭数（令和6年2月1日現在）
  - ・ 総飼養頭数 362,700頭（対前年比101.4%）
  - ・ 繁殖雌牛頭数 123,100頭（対前年比101.6%）
  - ・ 繁殖雌牛頭数の全国シェア18.8%（全国第1位）

【動向】繁殖雌牛頭数は、平成21年の134,700頭をピークに平成27年は113,000頭と減少していたが、平成28年から平成31年まで増加傾向で推移。令和6年は123,100頭で、平成27年と比べ10,100頭増加
- ② 飼養戸数（令和6年2月1日現在）
  - ・ 5,980戸（対前年比94.2%）

【動向】飼養戸数は年々減少しており、平成26年の9,690戸から10年間で3,710戸減少
- ③ 1戸当たり飼養頭数（令和6年2月1日現在）
  - ・ 肉用牛全体 60.7頭（対前年比107.8%）
  - ・ 繁殖雌牛 22.1頭（対前年比107.8%）

【動向】1戸当たりの飼養頭数は年々増加し、規模拡大が進行
- ④ 県内で肉用牛生産が盛んな地域（令和6年2月1日現在）
  - ・ 肝属地区 繁殖雌牛 30,800頭（県内シェア 25.0%）  
肥育牛 32,700頭（県内シェア 21.1%）
- ⑤ 出荷動向（令和6年）
  - ・ 子牛 出荷頭数 91,218頭（県内保留率 82.6%）  
価格(税込) 506,499円/頭（R6平均）（対前年比94.6%）
  - ・ 肥育牛 枝肉価格(税込) 2,360円/kg（R6平均）（対前年比97.7%）
- ⑥ 流通動向（令和5年）
  - ・ 牛食肉処理工場数 10か所（離島除く）、全処理頭数99,781頭
  - ・ 牛肉の輸出可能施設数 7か所、年間輸出量2,453 t
- ⑦ 肉用牛経営の収益性
  - ・ 繁殖経営については、配合飼料価格等の高止まりや枝肉価格の低迷などにより、肥育農家の収益性が悪化し、購買意欲が減退したことから、令和5年5月以降、子牛価格が低下し、収益性が悪化している。
  - ・ 肥育経営については、物価の上昇による消費者の生活防衛意識の高まり等の影響により、枝肉価格が低下したことなどから、令和6年5月から11月まで牛マルキンの発動が続くなど、厳しい経営状況が続いている。
  - ・ 今後とも生産性の向上とコスト低減を図っていく必要。

出典：①②③農林水産省「畜産統計」、④鹿児島県畜産振興課調べ、⑤鹿児島県経済連資料、農林水産省「畜産物流通調査」⑥鹿児島県生活衛生課調べ

# 本県肉用牛の現状について

